



早おきしよう

れいぎさまなぼう④

「早おきは三文のとく」っていうことばがあるんだよ。早おきをして時間を大切につかうことで、ものっていっぱいあるんだ。たまの休日だからって、いつまでもダラダラとふとんのなかでいて、けいたい電話なんてさわっている。そんな一日のはじまりじゃ、じゅうじつした一日にはならないよ。

早朝に、顔をあらい、ちよっとさむくてもジャケットをはおって外に出てみよう。むねいっぱい朝の空気をすって、かるく体をくわかしてみる。心地よさのなかで、さわやかな一日がはじまるよ。

おじぞうさまのお話 ⑦

民話のなかの、おじぞうさま

雪のしんと降り積もる寒い日、七体のおじぞうさまが雪をかぶっている姿を見て、やさしいおじいさんは大切に編んだ売り物のかさの頭にかぶせてあげた。するとある夜ふけのこと、おじいさんとおばあさんの家の外でドスンという音がある。目覚めたおじいさんがとびらを開けてみると、山のようなごちそうに小判があふれるほど、積みあげてあったんだ。はるか遠くにはゆっくりと歩き去っていく七体のおじぞうさまのお姿が。おじぞうさまたちがかさのお礼にと、もってきてくれたんだね。このかさじぞうのお話は有名だけれど、ほかにも東京都の「とげぬきじぞう」、新潟県の「しのぶじぞう」など各地におじぞうさまにちなんだ民話があるんだ。一つ一つ読んでみたいね。